

現地を訪問して思うこと

宮城県コース

匿名希望

集合場所の仙台空港に着いて、東日本大震災のとき空港を襲った津波の高さに驚きました。3.02m と表示してありました。私の身長の倍位です。数字で 3 メートルと聞いてもピンときませんが、自分の目で見てみると、高いところまで津波が来ていたことに驚きます。

ツアーでは、まず、南三陸町の被災地を視察しました。南三陸町の防災対策庁舎を訪れ、4階建ての建物にもかかわらず、屋上まで津波に襲われたということでした。'防災庁舎のすぐそばには、川が流れており、川も津波の高さに影響を及ぼしたのではないかと思いました。防災対策庁舎からの防災無線では、はじめ 6 メートルの高さの津波とアナウンスしていたそうです。実際には 12m を超える高さの津波が襲ったそうです。語り部ガイドの方は、必要な情報をもっと早く町に入っていればと、情報伝達の遅さも指摘していました。

その後、かまぼこ会社さき圭さんご夫婦のお話を聞きました。震災で工場が津波に流され再建するためには、震災前からある借金に加え、また借金をしなければいけなく、マイナスからのスタートとご夫婦はおっしゃっていました。前を向いて頑張っている姿に、ただただ、これからも頑張って欲しいと思いました。ご夫婦のやさしい笑顔がすごく心に残っています。

2 日目に気仙沼を訪れたときには、JR 気仙沼線が津波によって破壊されていました。津波の威力に驚きました。

夜のお食事のときなどいろんな年代の校友会の方々と交流できて立命館出身で良かったと思いました。このようなツアーに参加させて、頂いたことをありがたく思っております。

また、東北を訪れてみたいです。